

算数

(第1日 3枚のうちの1枚目)

次の問題の にあてはまる数を3枚目の解答欄に書き入れなさい。

[注意]

- ・問題にかいてある図は必ずしも正しくはありません。
- ・円周率は3.14とします。
- ・角すいの体積は、(底面積)×(高さ)× $\frac{1}{3}$ で求められます。

$$\boxed{1} \quad (17 - \boxed{} \times 77) \times \frac{2019}{5} = 31 + \frac{3}{5} - \frac{7}{13}$$

2

$$\frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}} \times \frac{\boxed{\text{ウ}}}{\boxed{\text{エ}}} = \frac{1}{\boxed{\text{オ}}}$$

の ア ~ オ に 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 の数から1つ

ずつ当てはめて式を完成させました。ただし、同じ数を2回以上使うことはできません。また、

$$\frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}} \text{ と } \frac{\boxed{\text{ウ}}}{\boxed{\text{エ}}}$$

は仮分数でもよく、これ以上約分できない分数です。このとき、 オ に当

てはまる数は です。

3

A, B, C, D, E, F, G, H はどの2つも異なる2から9までの数字です。3桁の整数ABCとDEFを足すと4桁の整数10GHになり、この足し算でくり上がりは百の位から千の位にだけあるとき、GとHの和は ① です。さらにこのとき、AがDより大きいとすると、ABCとして考えられる3桁の整数は全部で ② 個あります。

4

$A = 377 \times 377 \times 377 \times 377 \times 377 \times 377$ とするとき、Aの約数の中で14で割ると1余るものは、1を含めて全部で ① 個あります。また、Aの約数の中で15で割ると1余るものは、1を含めて全部で ② 個あります。

5

ある品物を仕入れ、利益を見込んで1個400円で売りました。しかし、いくつか売れ残ったため、売値を半額の200円にして残りをすべて売りました。その結果、売上高は26000円、利益は11600円になりました。品物1個の仕入れ値は1円未満の端数はありません。また、400円で売れた品物の個数は仕入れた品物の個数全体の6割より多く、7割より少ないことがわかっています。このとき、品物1個の仕入れ値は ① 円で、400円で売れた品物の個数は ② 個です。

6

89の倍数と113の倍数を、

89, 113, 178, 226, ……

のように小さいものから順に並べるとき、50番目の数は です。

7

A地点とB地点を結ぶ道を、太郎君はAからBへ、次郎君はBからAへ向かって、それぞれ一定の速さで同時に走り始めました。2人間の距離は3分間に1kmの割合で縮まりました。途中で、2人はC地点で出会うとすぐに折り返し、速さをそれぞれ時速1kmだけおとして、来た道を戻りました。2人はそれぞれA, Bに到着してすぐに折り返し、Cよりも130mだけAに近いD地点で再び出会いました。Dで出会った2人はまたすぐに折り返し、速さをさらにそれぞれ時速1kmだけおとして、来た道を戻りました。そして、2人はそれぞれA, Bに到着してすぐに折り返し、Dよりも mだけAに近いE地点で出会いました。

